



令和2年度研修会 アフターミーティング

～みんなで育ちあう職場づくりの醸成を目指して～



今年2月、研修会として、アフターミーティングを開催し、管理期の保健師を対象に17名の参加がありました。本年度、市町村保健衛生職員協議会の高知市および須崎ブロックで実施された「保健指導ミーティング」の実施とその評価の報告後、“人材育成”をテーマにグループワークを実施しました。グループワークでは、「人材育成では、意図した作業が必要」「自分の仕事の意味を考えるようなアプローチが大切」「想いを共有する場が大切」「日々のサイクルを回すためにわざわざ立ち止まる機会をつくらう」等、画期的な意見が出されました。

高嶋先生からは、「事例検討の意味は、振り返ってみんなの中で語る主観的なものを共通の場に出す事で、いろいろな価値観、自信のない想い、確信が持てないことも含めて語る。そうすることによって、事例を通して共感を生み、勇気をもって事例に取り組めるサイクルが生まれる。公衆衛生の中で何を選び取っていくか難しい時代であるからこそ、皆が自信をもって前に進める様に、時間がない中どうやりくりするか考えてほしい。今の時代は考えを合やす場が大切」。廣末委員長からは、「これまで身につけた実践を生かして、目の前の業務を熟していくしんどさが中堅期にはある。中堅期が現場で主戦力となって発揮していくために、背景や組織全体をみて、何が起きているかを分析しながら、言語化し相手に伝えていくような仕事ができれば…そんな職場の雰囲気を作ることが管理期には必要」との発言がありました。

参加者の意見・感想としては、「語りの大切さを改めて感じた」「自分たちのやっていること、感じていることを言語化して、共有していくことが大事と思った」「みんなで共有することの大切さを実感した」「自治体内で実施される事例検討は、問題解決型になりがちであるが、自分を振り返ることの意義を再認識することができた」「事例検討に取り組んでの感想を見て、事例検討会が保健師人材育成に有効であると感じた」「自分の職場で可能な形で取り入れていきたいと思った」などがありました。概ね皆さん、満足感を得られていました。

この度、高知県立大学の先生方のご協力で、人材育成のための「保健指導ミーティング」の手法を“見える化”していただきました。手引書のネーミングは、『みんなで育ちあう事例検討～保健師の経験成長につなぐ方法～考え方とその展開』です。事例検討が職場における先輩と後輩の語らいの場や日常的なOJTの中で活用され、保健師としての在り方を問い、公衆衛生看護の実践者である保健師の言葉で語ることで、保健師の持つ技術や能力が高まることを目指しています。現在、この手引書がもっと使えるように、『高知県保健師八策』を基に、評価指標の作成にも取り組んでいただいております。お問い合わせは、保健師職能委員まで！

開催日時: 令和3年2月6日(土) 13:30～16:30

> 本年度取り組み報告

「保健指導ミーティング」等実施報告

高知市・須崎ブロックより

アンケート結果の分析(高知県立大学看護学部より)

> 「手引書」の解説(高知県立大学看護学部より)

> 意見交換



手引書「みんなで育ちあう事例検討～保健師の経験成長につなぐ方法～考え方とその事例」

お世話になりました！これからもお元気で！

令和2年度末をもって退職される保健師の先輩会員さんからメッセージをいただきました。(順不同)

これから活躍される保健師の皆様へ

中芸広域連合地域包括支援センター 廣末 ゆか

あつという間の保健師活動生活22年間でした。学生時代、「面白い!」と思ったのが、公衆衛生看護実習でした。「いつかは、保健婦として仕事がしたい!」想いを最後に叶えることができました。入職したころ、制度ができるたびに、末端の自治体の風向きが左右されるなど思いました。危機感をおぼえていました。「保健師とは」...常に問い直さないと、表在化している事象に取りつかれ、制度化された「事業」を正当化して取り組めばいいと流されやすいなど思いました。本来「その人が生きていくとは」を見失いがちになりやすくなります。そして、そこから見える地域の課題が見えなくなりがちになっていくなど思いました。バブル崩壊後、高度経済成長の時代に生きてきた時代とは違う価値の多様性が生まれ、これまで“良し!”としていた価値でははかり知れない個人の生きづらさが目立ち始めています。制度の狭間を私たちは、どう捉えていくか、これから私たちの役割発揮だと思えます。そのために、どうすればいいか、そんなことをずっと考えて、「看護」にこだわって活動をしてきました。組織にとって、後輩にとっては「ややこしい」存在だったかもしれませんね(笑)

最後の6年間、高知県看護協会の保健師職能理事をさせていただきました。保健師職能委員会では、県、市町村の枠を超えて、委員のみんなと、「保健師とは」「みんなが元気に活動できるためには」を、今の厳しい現状を出し合い、しつこく検討してきたことは、とても大きな財産となりました。そして、そこから始めた人材育成のための事例検討として、香川県版の「保健指導ミーティング」「ファシリテーター研修」を取り入れました。そして、いつの間にか、我が職能委員会と県立大学看護学部の先生方との輪が広がっていました。本年度、手引書『みんなで育ちあう事例検討～保健師の経験成長につなぐ方法～考え方とその展開』第一弾を作成いただきました。市町村保健衛生協議会でのブロック研修で取り組んでいただき、とてもいい成果を出すことができました。これからも、職能委員のみんなで、啓発し続けていく活動となりました。本当にうれしいことです。もしよければ、会員になることもお勧めしたいです。

私にとっては、思いっきり、ぜいたくに、仕事場でも、看護協会でも、そしていろんなところで、楽しくいろんな体験をさせていただき、多くの人に出会い、多くの学びを得ることができ、幸せ者でした。感謝の気持ちでいっぱいです(^^) 皆様方には、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

皆さん、思いっきり目指す保健師活動をしてくださいね。応援しています(^^) 期待しています!

これからの皆さまのご活躍を祈念して♪

退職の日を迎えて

高知市保健所 地域保健課 神崎 明子

始まりは一宮支所の駐在保健師活動からでした。受け持ち地区の地図を貼り合わせて全体像を見渡し、地域を担当することの使命感と誇らしさみたいな感覚があったことを今でも覚えています。スーパーカブ50で縦横無尽に走りまわり、地域を肌で感じ、いろいろな人との出会いと協働がありました。

それから月日は流れ、平成6年に地域保健法が施行され、以後相次ぐ保健医療福祉介護などに関わる関連法の制定・改正などにより、保健師の活動領域や活動内容はめまぐるしく変化を遂げてきました。その中で、変革しなくてはいけないものと、手放してはいけないものとのせめぎ合いが常にあったことを思い出します。

今、改めて思うことは、保健師は地域に責任をもち住民に近い存在であり続けることが、職能にとっての命綱だということです。公衆衛生看護は「みんなの健康をみんなの力を合わせて守ること」だからです。

ひとつの家族に向き合い、生き様に触れ、心が揺さぶられました。支援しているようで、いつも私の方がエンパワメントされてきました。当事者の力に触れ、地域の中でちいさな協働の輪が広がる瞬間に立ち会えた時、保健師冥利に尽きました。この色褪せない感覚は、わたしの道しるべであったと思います。

これまで沢山の人に支えられ、育んでいただき退職の日を迎えることができました。出逢えた全ての方に心からの感謝を申し上げます。今後のみなさまのご活躍を心から応援しております。



退職にあたり感謝を込めて

高知県安芸福祉保健所 中井 弘子

定年退職を迎えるにあたり、保健師の皆さんには大変お世話になり感謝申し上げます。

昭和58年に佐川保健所長者駐在所を振り出しに保健師人生がスタートしました。当時は何をするにもまずは家庭訪問からの時代で、よく地域を歩き回ったことです。健康祭り、地区の運動会、神祭等、何事にも体当たりで参加して住民の皆さんといっしょにする、時にはお叱りを受け、また励ましていただいて地域に責任を持って活動することを教えていただきました。

その後保健師制度も変わり、保健所から精神保健福祉センター、市町村派遣や県庁の施策業務まで幅広く経験をさせていただきました。その中で、最も住民に近い福祉保健所の現場が一番長く、チームで取り組む保健師活動の醍醐味を味わうことができ幸せだったと思います。これまで長く支えてくださった皆さま、本当にありがとうございました。

現在は、超高齢化の進展や長期の不況から生活困窮者の問題だけでなく、東日本大震災以降、毎年発生する災害対応、そして新型コロナウイルス感染症のパンデミック発生と住民の命の危機につながる大きな問題が次々と発生しています。そのたびに、保健師は住民に最も近く寄り添い支えることができる職種であり、住民や行政、関係機関から保健師への期待は大きくなっています。

大変な状況ですが、そのような中でもどうか、ぶれることなく高知県の保健師の誇りと地域への責任をもって頑張ってください。県と市町村の隔てなく、周りの仲間と手を取り合って進んでください。これからの皆さまのご活躍とご健勝を祈念して、お礼の言葉とさせていただきます。



退職にあたって

高知県須崎福祉保健所 森澤 和

日々の仕事に追われ気がつけば退職を迎えていたというのが本音です。赴任地決定の連絡を受け「ありがとうございます」と返事をして電話を切り、急いで地図を調べたこと、引っ越しの際少しさみしかったことや、途中見た山桜がとてもきれいだったことは今も脳裏に焼き付いています。

前任のベテラン保健師さんの後の新米保健師に、役場の方や地元の皆さんも「大丈夫か？」と不安だったことでしょう。にもかかわらず、時には厳しいお叱りも受けながら、周りの方たちに助けてもらいなんとか日々の業務をこなしていくことができとても感謝しています。お昼を一緒に食べてくださった隣の事務員さんや、地域のこと、バイクの乗り方まで教えてくださった役場の方たち、いつも優しく声をかけて下さった地元のおばちゃん、使えない新人だった私を気長く指導して見守ってくださった先輩保健師さんたち皆さんのおかげで保健師の仕事の楽しさを知り、一緒に泣き、笑い、今の自分があります。様々な部署に異動し、これって??と思うこともありましたが、それらすべてがどこかで必ず役に立つということが分かりました。

後輩の皆さんもいろんな経験をして自分の引き出しをたくさん作って行って下さい。

お世話になりました。これからもよろしくお願いします。



退職にあたって

高知県幡多福祉保健所 坂本 絵里

昭和58年に駐在保健師として勤務してから、38年目を迎えました。時代とともに保健活動に変化があったことを感じています。後半は県庁で医療機関の医療安全・院内感染に係る業務を6年間従事し、特に、医療関連感染対策ネットワーク事業に奔走したことが記憶に刻まれています。最後となる年は感染症業務に携わり、コロナ対策において、この経験が生かされたと感じています。

在職中はたくさんの方々に様々なことを学ばせていただき感謝しています。ありがとうございました。

先輩方への感謝の気持ちとともに、保健師マインドのバトンを引き継いでいきましょう



3職能生きる力を育むいのちの教育について

高知県の子どもたちが、自分のいのちを肯定的に受けとめ、生きるための力を育み、力強く生きていくことを看護職が支えていきたいと考え、令和2年度に3職能合同で『3職能生きる力を育むいのちの教育検討委員会』が発足しました。

今年度は、「高知家の子どもの生きる力を育むために」、看護3職能と学校との協働をめざして、東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科教授 渡會 睦子先生を講師及びアドバイザーとしてリモートで参加いただき、研修会を企画しました。第1回目を令和2年11月15日(日)「基礎編・実践編」、第2回目を令和3年1月24日

(日)「まとめ編」とし開催しました。学校の学習指導要領の改正に伴い、性教育が教科横断的に位置づけられ、カリキュラムマネジメントの重要性が求められてきていること等を踏まえ、各々の職能の力をどのように発揮し、学校と協働できるかをテーマに検討し始めた研修会となりました。

来年度も3回シリーズで研修を行います。研修日程は、第1回目を令和3年7月11日(日)保健師職能集会終了後、『3職能合同研修会』として、第2回目を令和3年11月14日(日)『モデル地区の活動報告』、第3回目を令和4年1月15日(土)に予定しています。

保健師として、地域、医療機関、職域等、どの現場、どの分野においても、また世代問わず、個・家族・集団・地域と丸ごととらえ、常に、“生きる力”を育むことの重要性を感じる事が多いと思います。保健師としての専門性と、また、人生を生きる先輩として、「高知県の子どもたちが人生を豊かにするためのいのちの教育」について一緒に考え、実践していきましょう。

○中学校 性に関する主な学習内容

	第1学年	第2学年	第3学年
生命尊重	「生命の尊厳」(道徳科)		
生物的側面	心身の機能の発達と心の健康(保健体育・保健分野) ・身体機能の発達 ・生殖に関わる機能の成熟	生物の体のつくりと働き(理科) ・生物と細胞 ・動物の体のつくりと働き	健康な生活と疾病の予防(保健体育・保健分野) ・病原体が生きたり死んだりして発生する感染症 ・発生源・感染経路・主体への対策による感染の予防 ・エイズ及び性感染症の予防
	いろいろな生物とその共通点(理科) ・生物の体の共通点と相違点		生命の連続性(理科) ・生物の成長と殖え方 ・遺伝の規則性と遺伝子 ・生物の種類の多様性と進化
心理的側面	心身の機能の発達と心の健康(保健体育・保健分野) ・精神機能の発達と自己形成 ・欲求やストレスへの対応と心の健康		
	思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応(特別活動・学級活動)		
	向上心、個性の伸長(道徳科)		
社会的側面	心身の機能の発達と心の健康(保健体育・保健分野) ・成熟の変化に伴う適切な行動 (責任の尊重、性権への対応)	薬害の防止(保健体育・保健分野) ・交通事故などによる薬害の防止(地域社会で発生する犯罪が原因となる薬害とその予防)	私たちが現代社会(社会科・公民的分野) 私たちが経済(社会科・公民的分野) 私たちが政治(社会科・公民的分野) 私たちが国際社会の諸課題
	心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成(特別活動・学級活動) 男女相互の理解と協力(特別活動・学級活動)	思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応(特別活動・学級活動)	
	節度、節制・相互理解、責任・家族愛、家庭生活の充実(道徳科)	友情、信頼(道徳科)	公正、公平、社会正義(道徳科)
	家族・家庭生活、衣食住の生活(家庭科)		
	目標にふさわしい探究活動(総合的な学習の時間)		

保健師・助産師・看護師
いのちの教育



看護協会 入会のご案内

高知県看護協会は、日本看護協会との連携のもと、保健師・助産師・看護師の看護の質の向上を目指し、活動しています。

また、安心して働き続ける環境づくりの推進・次世代の人材育成にも取り組んでいます。皆様の入会をお待ちしています。

詳しくは、お近くの職能委員へお声掛けください。

高知県看護協会
TEL088-844-0678



※日本看護協会との同時入会となります。

～編集後記～

春の足音を花や草木、日差しの中に感じています。この冬を振り返ってみますと、職場や家庭で風邪などをひいている人がいなかった、そんな珍しい冬でした。新しい生活様式が人々の暮らしの中に浸透して、感染症から身を守れても、人と人のつながりや交流が危ぶまれる時代を過ごしています。またリモートでの交流や研修など新たなITの波が多くの人々の暮らしに変化を作っています。新たな時代の到来、それに伴い、人々の暮らしがどのようになり、どのような保健活動が始まるのか、じっと見守っていきたくと思います。